

「おにぎりアクション 2026」特設サイトオープン

「食の豊かさとは？」を考えるきっかけに

～身近な食を通じて世界とのつながりを感じ、学校給食支援につなげる～

日本発、世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International（以下、TFT）は、国連が定めた 10 月 16 日「世界食料デー」（世界中の人が食べ物や食料問題について考える日）を記念し、「おにぎりアクション 2026」を 10 月 8 日（木）～11 月 17 日（火）に開催いたします。開始に先立ち、本日 9 月 1 日に特設サイトを開設しました。

（URL <https://onigiri-action.com/>）





**おにぎり
アクション**

10.8 » **11.17**

THU — 2026 — TUE

私たちの食を通じて、
ちょっとだけ
世界を良くする

あの人に、あの子に、わたしに。
愛を込めてにぎる「おにぎり。」
その「誰かのため」の気持ちに、
世界の子どもたちへの想いも込めて
あなたがにぎりを食べると、
世界の子どもたちに給食が届く

「おにぎりアクション」は、日本の食文化を象徴する「おにぎり」をきっかけに、世界の食料問題について考え、行動する機会を創出するソーシャルアクションです。2015 年の開始以来、累計 243 万枚以上の投稿が寄せられ、約 1,280 万食の学校給食支援につながりました。

◆なぜ今、おにぎりアクションなのか

世界では、飢餓や栄養不足が依然として大きな課題となっています。

国連食糧農業機関（FAO）などが発表した「世界食料安全保障と栄養の現状（SOFI）2026」によると、2025 年に飢餓の影響を受けた人は世界で約 6 億 4,500 万人と推計され、世界の飢餓人口は 3 年連続で減少傾向にあります。一方で、課題は「食べられるかどうか」だけではありません。同報告書によると、世界では約 3 人に 1 人が、経済的な理由から健康的な食事を確保することが難しい状況にあります。特にアフリカでは約 3 人に 2 人にのぼり、栄養のある食事へのアクセス改善が引き続き求められています。

私たちが暮らす日本にも、食をめぐるさまざまな課題があります。栄養の偏りや孤食、食品ロス、相対的貧困など、「食ること」は私たちの暮らしに欠かせないものでありながら、食の豊かさを誰もが十分に感じられる環境にあるとは限りません。

食は、国や地域、世代を超えて、誰もが毎日向き合うものです。

日本の身近な食文化である「おにぎり」を入口に、世界の食料問題を遠い国の問題として捉えるのではなく、「食の豊かさとは何だろう？」と一人ひとりが考えることから、世界とのつながりを

感じ、自分にできることを見つけ、行動につなげる。そして、その一人ひとりの行動を世界の子どもたちへの学校給食支援につなげていくことを目指します。

◆開催前から楽しめる SNS 企画「おにぎり秘密道具」

おにぎりアクションの開催に先駆け、SNS では、おにぎりをもっとおいしく、楽しくする「秘密道具」を紹介する企画を実施します。

「おにぎり秘密道具」は、調味料や調理道具に限りません。おいしく食べられるお気に入りの場所や、一緒に食べる人、「おいしく食べてほしい」という思いなど、おにぎりをより豊かにしてくれるさまざまなものを「秘密道具」として紹介します。



普段何気なく食べたり握ったりしているおにぎりについて改めて考えることで、日々の食事にある小さな工夫や楽しみ、誰かを思う気持ちに目を向ける機会をつくりまします。また、他の人の「秘密道具」を知ることで、新たな食の楽しみ方や発見を広げていきます。

◆参加者の多様な発信・参加スタイルに対応し、より参加しやすい社会貢献キャンペーンへ進化

本年は、参加者の多様な発信・参加スタイルや教育現場のニーズに対応するため、Instagram ストーリーズでの参加を新たに可能とするほか、学校・教育関連団体向けには、SNS や写真投稿を行わなくても参加できる新たな参加方法を導入します。

より多くの方が自分に合ったスタイルで無理なく参加できる仕組みを整えることで、参加の輪を広げ、学校給食支援へとつなげてまいります。

◆ご協賛企業・団体

スクールパートナー

青稜中学校・高等学校

オフィシャルパートナー

NISSAN
SERENA
日産セレナ

OISIX

コーポレートパートナー

nissui

笑顔の食卓文化
ニコニコのり

サポーターパートナー

ZOJIRUSHI

sangetsu

株式会社 ニッコトラスト

豊田通商

田辺ファーマ

三菱重工

sojitz
New way, New value

GMO
INTERNET GROUP

MARUTOU

LEOC

住友電工
Connect with Innovation

SI&C

RKKCS

Time & Air
AMANO

住友理工

キッチン絵良
おづくから 食べられるまで

JLL

MOL
商船三井

新潟県観光協会

フーディストノート

デリッシュ
キッチン

サービス連携

SHIDAX
未来の子供たちのために

YONDE

メディア連携

月刊総務

オフィシャルパートナー：日産セレナ、オイシックス

コーポレートパートナー：ニッスイ、ニコニコのり

スクールパートナー：青稜中学校・高等学校

サポーティングパートナー：象印マホービン、サンゲツ、ニッコクトラスト、豊田通商、
田辺ファーマ、三菱重工業、双日、GMO インターネットグループ、丸東、LEOC、住友電気工業、
SI&C、RKKCS、アマノ、住友理工、キッチン de 給食、ジョーンズ ラング ラサール、商船三井、
新潟県観光協会、フーディストノート、デリッシュキッチン、シダックスフードサービス、YONDE、
月刊総務

TABLE FOR TWO では、引き続き、おにぎりアクションにご参画いただける協賛企業・自治体・学校パートナーを募集しています。

<https://jp.tablefor2.org/onigiri2026-sponsor/>

◆「おにぎりアクション」個人寄付受付も開始

本日 9 月 1 日より、個人の皆様からのご寄付受付を開始いたしました。

「おにぎりアクション」を応援してくださる皆様からのご支援を心よりお待ちしております。

<https://jp.tablefor2.org/donate-onigiri/>

※ご寄付フォームで、支援の種類を「今回のみの寄付」、寄付の使途を「おにぎりアクション」にご指定ください。

※特設サイトトップページ＞寄付のお願い からのご寄付いただけます。

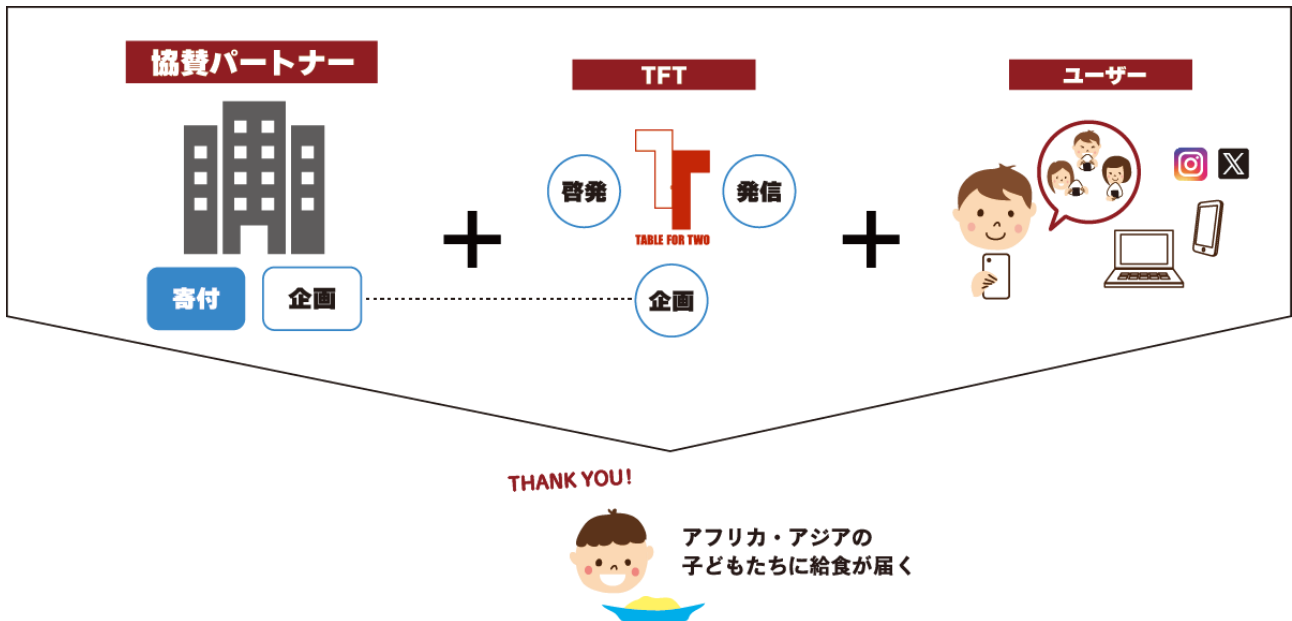
おにぎりアクション概要

開催期間：2026 年 10 月 8 日～11 月 17 日

参加方法：おにぎりの写真を SNS または特設サイトへ投稿（※）

寄付内容：投稿 1 枚につき給食 5 食分を協賛企業・団体が寄付（※）

特設サイト：<https://onigiri-action.com/>



※SNS 利用動向の変化に伴い、2026 年より Facebook での投稿は寄付カウント対象外となります。

「おにぎり」の写真を SNS (Instagram、X) またはおにぎりアクション特設サイトへ投稿すると、協賛企業・団体の寄付により、写真 1 枚につきアフリカ・アジアの子どもたちへ給食 5 食分が届けられます。あわせて、日本の子どもにも食支援が届きます。

TFT の各種公式 SNS では、本アクションに関連する情報を発信してまいります。

Instagram : https://www.instagram.com/tablefor2_official

X (旧 Twitter) : <https://x.com/TFTjp>

ご取材いただけます。

- ・ TFT 事務局長 土井暁子 (どい あきこ) および「おにぎりアクション」担当者へのご取材
- ・ 協賛パートナーご担当者様へのご取材

特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International について (<https://jp.tablefor2.org/>)

2007 年 10 月設立。認定 NPO 法人。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトのもと、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食 1 食分をプレゼントすることができます。企業や官公庁、大学、病院など約 700 団体にご参加いただき、東アフリカと東南アジアの 5 カ国 (ケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン) を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施しています。累計支援給食数は 1 億 2000 万食以上にのぼります。